

合志市総合計画進行管理 【合志市総合政策審議会意見・指摘事項】

審議日 平成27年8月12日、19日、26日

※ 市総合政策審議会意見・指摘事項の基礎となった個別意見（番号入りの意見）を付記しています。

1. 危機管理・防災対策の推進

・地域住民へわかりやすい情報発信を、積極的に行うこと。

（まとめの基礎となった個別意見）

- ①災害・防災に関する啓発（危険箇所等）を行う。
- ②高齢者夫婦二人暮らしの家庭が多い。危険箇所、危険場所を確認しあい、危機管理に努める。
- ③インフルエンザ予防に、家族で危機管理を心がけるよう周知を図る。
- ④行政からの働きかけや指示的な計画を、各地区の区長及び民生委員へ→地域住民へ。理解と関心を高めるように。
- ⑤個人の思いも大切だが「自治会」という形で啓発してほしい。

・災害時の緊急対応の周知徹底を図ること。

（まとめの基礎となった個別意見）

- ⑥ゲリラ豪雨等に対応するため、業者（委託）の張り付けで一般市民の安全・安心に寄与する。
- ⑦小中学校の休校は行政から指示があるが、保育園は園長に任されているので、災害についての合志市のマニュアルを。

・防災訓練の実施と避難場所の周知を図ること。

（まとめの基礎となった個別意見）

- ⑧防災訓練を1年に1度、自治会で実施しているが、住民個人の意識の低さに問題があると思う。原因は教育の低さにあると思う。
- ⑨避難場所の設定はどうなっているのか。

2. 防犯対策の推進

・引き続き、地域防犯団体や関係機関との連携を図り、地域の防犯力の向上に努めること。

（まとめの基礎となった個別意見）

- ①シルバーボランティアや子ども会等と連携し、地域住民で見守る体制作りを。
- ②子ども達の登下校時の挨拶がよくなってきていると実感する。あいさつは防犯にもつながるので、引き続き啓発を。

③散歩や犬の散歩時の見守りボランティアの促進を。

④警察のパトロール強化。

・ **引き続き、子どもや高齢者が犯罪被害に遭わないように取り組むこと。**

(まとめの基礎となった個別意見)

⑤番号制度も始まる。特に高齢者へ振り込め詐欺等の犯罪被害に遭わないよう啓発を。

⑥安心安全メールの更なる普及啓発と充実を。

・ **引き続き、防犯灯のLED化、防犯カメラの設置等、防犯に対する環境整備に努めること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

⑦引き続きLED防犯灯普及に努めること。

⑧防犯カメラの普及を。

3. 交通安全対策の推進

・ **交通事故防止のための環境整備に努めること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

①危険箇所の点検。

②縁石のある歩道を増やしてほしい。

③朝夕ラッシュ時の一方通行、右左折禁止などをしてほしい。

④子ども・高齢者目線での道路標識の配置。

⑤道が狭いため、自転車で走るのは危険なので整備をしてほしい。

⑥カラー舗装を増やしてほしい。

⑦丈の高い雑草で見通しが悪く、危険なので対策してほしい。

・ **交通安全の啓発活動を充実させること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

⑧子どもたちの自転車の乗り方が心配なので、交通安全教室（手信号の普及など）の充実を。

⑨自転車通行に関する法律の周知をする。

⑩反射板のついた服や靴の販売や配布はできないか。

⑪登下校時の子どもの見守り運動を複数の団体で行っているため、市が指導して効率的な運営を行う。

⑫高齢者に向けた事故防止啓発の強化。

・ **きれいな道路を維持すること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

⑬道路のごみが目立つため、ボランティアなどを活用して清掃活動を増やしてほしい。

4. 公共交通の充実

・ **公共交通の利用者増のため更なる周知を図ること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①レターバスの利用アンケートは、免許を持たない方(18歳未満、小・中学生や高齢者)を中心に意見を吸い上げれば具体的な要望やニーズが分かるのでは。
- ②免許を持っていない人への調査が必要。(公共交通しか利用できない人)
- ③レターバスの利用方法の周知徹底。(時間・バス停・所要時間の啓蒙)
- ④レターバス・循環バスで多額の赤字。(100円→200円へ)
- ⑤熊本電鉄への助成金再検討。(営利企業→企業努力→乗客増)
- ⑥レターバスの既存駅との連動性を考慮し利用価値アップを図る。(路線の見直し時間の調整等の見直し)
- ⑦右回り、左回りの路線で迷う。
- ⑧レターバス等バス停の場所が分からない。(時刻表も)
- ⑨レターバスは小・中学生が利用し易い仕組みを作れば、将来の利用につながるのでは。(利用する習慣をつけてもらう)
- ⑩コミュニティバス・レターバスの利用者からすれば、本当にいいシステムであるとの事。
- ⑪電鉄路線をせめて辻久保まで延長できないか。熊本電鉄との交渉は可能なのか。
- ⑫菊電、電鉄バスに合志市民割引があればマイカーより安い感じがあれば利用が増えるかも。(熊本市内に行く場合マイカーが安く移動できる事が多い)

・行政と事業者が一体になって、公共交通との接続のための環境を整備すること。

(まとめの基礎となった個別意見)

- ⑬電鉄駅の駐車場が狭い。(パークアンドライドの推進)
- ⑭電車の駅に接続できるバスのダイヤが可能か。(レターバス等)
- ⑮バス停の整備。(簡易な屋根等)

5. 道路ネットワークの充実

・国、県、近隣市町との道路ネットワークの整備に努めること。

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①スマートインターチェンジの早期完成を、一日も早く推進してほしい。
- ②国道、県道、高速道等の整備計画に沿った市道の整備を実施する。
- ③市の住宅建設地等の計画に合わせ、道路整備計画を図る。

・通学路や生活道路の危険箇所の解消に努めること。

(まとめの基礎となった個別意見)

- ④狭い道路は地主等と用地買収を交渉し、道路の拡張を推進する。
- ⑤交差点での右折レーンが少ない箇所があり拡張を図る。
- ⑥自転車通学で車幅が狭く車道にはみ出して危険である。

・公共交通を充実させ、交通渋滞の解消を図ること。

- ⑦公共交通(バス・電車)の充実を行い、マイカーを減らすことも必要では。

6. 計画的な土地利用の推進

・市街化調整区域の規制緩和を引き続き働きかけること。

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①市街化調整区域の規制緩和を引き続き働きかけ、土地活用を図る。
- ②規制緩和を県に更に要望していくことが必要。(市街化調整区域)
- ③規制緩和について国・県との交渉を、行政力でお願いします。
- ④市街化区域と市街化調整区域のバランスについての検討。
- ⑤農村地域(合生地区など)の開発の規制緩和を。

・広域的な土地利用計画策定の検討と、土地利用に対する市の方針を市民に周知すること。

(まとめの基礎となった個別意見)

- ⑥国・県・市(周辺町を含む)合同の土地利用計画の策定。
- ⑦土地利用計画、展望を地域住民に説明する。

・土地の有効活用を図ること。

(まとめの基礎となった個別意見)

- ⑧土地の有効活用を図るため未整備土地の指導が必要。法改正(用地買収)など。
- ⑨国の農業研究センターの有効活用。
- ⑩遊休農地の利用・活用。行政が把握して市民にPRし、利用者を確保。(市民農園など)
- ⑪これからまだまだ住宅の開発が進むと思われるが、住宅区域の空き家も目立つ。空き家対策を。
- ⑫スマートインターチェンジの計画を公表して数年が経つが、まだ未着工。早期着工を願う。
- ⑬九農研に野球場をつくってほしい。
- ⑭大会誘致等ができるような宿泊施設があればいいと思う。例えば、西合志庁舎を宿泊施設にするとか。
- ⑮合志市は、農業大学校、学園大、熊本高専、農業公園、農研センター、九農研など大学や農業施設が多い。農業学園都市として特区申請できないか。

7. 地球温暖化防止対策の推進

・引き続き、ごみの減量化の推進に努めること。

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①引き続きごみ分別の啓発、徹底に努めること。
- ②過剰包装を止め、環境にやさしい包装を推進するため、メーカーへの働きかけを。
- ③各区でごみ減量の目標をつくり取り組ませてはどうか。

・環境に対する意識向上を図るため、エコ学習の推進を図ること。

(まとめの基礎となった個別意見)

- ④昔の人の工夫、例えば、打ち水や金魚、蚊帳、うちわ、そうめんなど親子で楽しめるエコ学習を

してみてもどうか。

⑤節電、節水など保育園からエコ学習を。

・ **緑を守る活動に勤めること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

⑥自然を守るのはもちろんだが、各家庭で植物を植える活動を促進してはどうか。

⑦公共交通の利用促進を図る

8. 廃棄物の抑制とリサイクルの推進

・ **廃棄物抑制のための啓発に努めること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

①大型家電などの処理の無料化はできないか。

②不法投棄の多い場所を監視することはできないか。

③ごみ袋に記名するよう呼びかける。

④ごみ分別の仕方を把握できていない人が多いので、市が地域に出向いて説明をしてほしい。

⑤買い物の際、持参した容器に入れてほしい時があるが、できない店が多い。

⑥ゴミステーションのデザインを統一してほしい。

⑦分別の簡素化。

⑧ごみの捨て方の見本をゴミステーションにおいてほしい。

・ **リサイクルの推進に努めること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

⑨家電を修理してもらえる場所を増やしてほしい。

⑩リサイクル品はできるだけ地域の廃品回収に出すように指導する。

⑪有効資源（肥料など）への利用度を高める。

⑫リサイクルボードを活用する。

⑬24時間利用できるゴミステーションを増やしてほしい。

・ **美化推進委員の資質向上と有効活用に努めること。**

⑭美化推進委員が自覚するように、氏名と職務を広報紙に掲載する。

⑮ごみ収集日に美化推進委員から指導してほしい。

⑯収集後のゴミステーションの掃除しかしていないので、市が指導してほしい。

9. 住環境の充実

・ **住環境を考える場合、地域差を考慮すること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

①住環境を考える場合、合志市全体で考えず、地域差が激しい（買い物環境など）ので、2つか3・4に分けて検討すべき。

②自分の住んでいる環境が悪い（良い）と考えている地域はどこであるかを地域別で調査する。地

域差があるので、地域別に対等を考えるために細かく調べるべき。

・ **買い物や交通など複数の面を考え住環境の充実を図ること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

③日常の買い物（特に食料品）が極端に不便（商業地がない）御代志地区の都市計画の早期推進。

（商業地の誘致）→規制緩和の推進

④住環境とは・交通の便・日常の買い物の利便性・犯罪が少ない・立地条件（水害・風災）・その他が揃って住環境が整い須屋地区と合生地区の差が多すぎるため、一概に住環境がいいとは言い切れない。

⑤空き家問題。

10. 水環境の保全

・ **節水に対する取り組みと周知啓発に力を入れること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

①家庭での使用水量について話し合い、節水に努める。

②家庭で水資源の話を実施する。

③節水啓発（小・中学校等を含めて）と、漏水防止の為、水道管の計画的な改修を行う。

④各家庭の生活排水を減らすよう啓発する。

・ **人口増に対応できる水源地等の設備を整備すること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

⑤人口増に伴う水源地等の設備の見直し、及び増設を。

11. 農業の振興

・ **引き続き「農業」を守るための対策を講じること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

①生産者が更なる品質向上を目指せる環境づくりを。

②人材の確保を。

③引き続き、土地利用に関する規制緩和の早期解決をお願いする。農産物加工企業等の誘致にもつながる。

・ **合志市の農業自体をブランド化し、中央で物産販売するシステムを構築すること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

④農業都市こうしを全面に出し、全国に発信する。

⑤東京に合志市ブランドの産物として販売促進。

⑥合志産の農産物に合併10周年やヴィーブルくんなどラベルを張りPRしては。

・ **引き続き、合志市内の農業関係施設との更なる連携を図ること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

⑦農業大学校、九州農研センター、熊本高等専門学校、農業公園を中心に農業学園都市を目標に取

り組んでは。

⑧西合志庁舎を宿泊施設にし、農業等の研修施設にしてはどうか。

・ **地産地消の更なる推進に努めること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

⑨食の安心という観点から、消費者に生産者が直接販売できる場の設置を。

12. 商工業の振興

・ **土地利用の規制緩和について、県にはたらきかけること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

①土地利用計画の早急な見直しを図ること。

②市街化調整区域の見直し。

・ **合志ブランド、特産品の確立を検討すること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

③手頃な価格のお土産として渡せるものがほしい(合志ブランドは高い)。

④合志市の顔となる特産品がほしい。

13. 働く場の確保と企業誘致の促進

・ **各種規制の緩和を国・県に強く要望すること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

①最優先で考えるべき重要事項であるにもかかわらず規制緩和による制限があり、企業進出ができない。これが先決で雇用の受け皿づくり、事業税による税率アップ→財政改革。

・ **企業誘致と併せて地元の雇用促進を図ること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

②地元の若い人たちが安心して働ける場所(地元雇用)の推進。

14. 市民参画によるまちづくりの推進

・ **まちづくり活動に対する行政の支援と連携を強化すること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

①行政とまちづくり活動団体との連携強化。

②市に必要なまちづくりとは何か、研修が必要では？

・ **若い世代が参画できる企画を立案すること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

③若年層を取り込む為、学校行事に平行して意識を高めてもらう。校区で行事を行う。

④若い人が参画できる基本方針を作成し、配布して参画を呼びかける。

・ **合志市の代名詞となるようなイベントを企画し、市民総参加につなげる。**

(まとめの基礎となった個別意見)

⑤名物の竹迫観音祭を合志市発展の起爆剤にできないか？

・ **まちづくりリーダーの育成を図ること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

⑥市民参画の元となるリーダーの育成を、自治会などにも呼びかけ推進を図る。

⑦区長会の協力が必要。全ての面において、やる気のある人とない人の差が大きい。

15. 健康づくりの推進

・ **心と体の健康づくりの推進に努めること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

①各地区対抗の運動会、駅伝大会の復活。

②更なるラジオ体操の啓発、普及を。

③心の健康について、カウンセリングの啓発を。

④引き続き、特定健診受診率の向上に努める。

・ **引き続き健康づくりのための教育を推進すること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

⑤健康づくりは「食」からという意識向上に努める。

⑥日常生活のしつけ、食生活、健康に関する教育を家庭から。

16. 高齢者の自立と社会参加の促進

・ **高齢者が生きがいを持てるような社会づくりに努めること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

①老人会、高齢者サロンへの加入促進をさらに強化する。

②高齢者が集えるような施設の充実。

③空き家の活用ができないか。(サロンなど)

④子どもたちとの交流の場を増やす。

⑤高齢者が社会貢献できる場がほしい。

⑥高齢者が夢を持てるような支援対策をしてほしい。

・ **高齢者に対する支援事業の充実に努めること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

⑦生活・介護支援サポーターをもっと活用してほしい。

⑧他市と比較して要介護認定が厳しい。

⑨地域支援事業において各団体で重複している業務があるため、行政が調整をしてほしい。

⑩高齢者向けのサポーター確保と派遣システムの確立(社会福祉協議会以外で)にむけて努力してほしい。

17. 障がい者の自立と社会参加の促進

・障がい者の自立のため、安定して働ける場所を確保すること。

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①障がい児の実人数と障がい児手当の平均支給額は？医療費補助その他どのような救済策を行政は行っているのかはっきりしてもらいたい
- ②障がい者の雇用の場の確保、障がい者技術指導設備の充実。
- ③障がい児の安心した生活ができるために社会の見守り、補助（手助け）に努める。

・福祉施設で作られる製品の販路を確保すること。

(まとめの基礎となった個別意見)

- ④就労継続支援施設での製品製作し対して、販売先、ルートの開発。→自立支援

18. 社会福祉の推進

・地域ボランティアの育成、及び支え合う体制づくりを図ること。

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①自立支援に関する地域ボランティアの育成、研修が必要。
- ②住民相互のつながりができ、地域で支え合う体制づくりを図る。
- ③認知症等に関する地域支援が必要。
- ④一人暮らしの老人（シングルシルバー）に対し民生委員と地域が協力して共に支援をし、深い視点で見守る必要がある。

・行政と社会福祉協議会が連携・協力し、事業推進及び環境の整備に努めること。

(まとめの基礎となった個別意見)

- ⑤社会福祉協議会の充実。マンパワーの確保。
- ⑥福祉課と社会福祉協議会が年間計画を作成し、協力して事業推進してほしい。
- ⑦車椅子等が安心・安全に行動できる環境の整備。

・自立支援に向けた体制づくりと、制度の周知を積極的に行うこと。

(まとめの基礎となった個別意見)

- ⑧母子・父子家庭に対する自立支援。（援助金を含む）
- ⑨生活保護制度の適正実施や、制度改正への対応と住民への周知を図ること。

19. 子どもを見守り、育てる地域づくり

・行政・学校・保育機関・家庭及び地域が連携を図り、子どもを見守り育てるまちづくりを進めること。

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①合志市は他の市町村に比べ、子育てには恵まれていると思います。更なる充実をお願いします。
- ②親の相談窓口の啓発として、サークル等の団体をとおした周知を図ってはどうか。
- ③高校生を含む子どもたちの引きこもりや不登校に悩む親は多い。これまでの経験として、農業等

の職場での体験は効果があると思うので、取り組んでみてはどうか。

- ④子どもを取り巻く犯罪が多様化している。今以上の子どもたちの見守り対策が必要である。
- ⑤子ども会等でも行っていると思うが、市も地域の危険個所のマップ作製など把握を。
- ⑥防犯カメラを増やす。
- ⑦街灯の普及を。
- ⑧スマホの普及による犯罪被害やトラブルも増加している。引き続き注意喚起を図ること。
- ⑨スマホの普及で人とのコミュニケーション不足が起因するトラブルも多い。引き続き、注意喚起を。
- ⑩子どもが集える児童館のような拠点施設を増やせないか。その為にも規制緩和への働きかけを。
- ⑪社協の事業「あぐりっこ事業」の活用と周知広報を。
- ⑫行事や研修などを企画してもひとり親家庭は忙しいからか参加が少ない。ひとり親家庭への支援を。
- ⑬子どもの体験事業などいいプログラムのものも多く行っているとは思いますが、参加が少ないように感じる。もっと啓発を。
- ⑭他の事業もそうだが、周知方法も、ただ広報に載せればよいというものではない。他の周知の検討も必要。また、興味を引くような工夫を。
- ⑮親子で体験できる行事を増やしてほしい。
- ⑯行事等への参加を学校をとおして周知を図るのはいいが、その後、発表するような機会（クラスの中でもいい）を設けることで、体験が生きるのでは。
- ⑰行事等へ参加しない人の掘り起こしをする工夫が必要。

20. 義務教育の充実

・教職員の質の向上のために学校と行政と地域との意見交換の場の整備を検討すること。

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①子どもに地域との関わり方やボランティア等の社会奉仕の心を育てほしい。
- ②児童、家庭、学校、教育委員会のつながりがよく見えない。
- ③塾に行くのが常態化している。義務教育に物足りなさを感じる。
- ④教師の指導強化、意見交換の場を設ける。
- ⑤支援学級の教員は学習支援、生活全般支援、登校支援など全てをみれる人を設置してほしい。
- ⑥フリースクール、ボランティア団体、民生委員など横のつながりをもって役割分担を行う。

・不登校解消に向けた取り組みをすること。

(まとめの基礎となった個別意見)

- ⑦不登校対策を目に見える形でできないか。
- ⑧不登校解消に向けての取り組みが必要。

・学力、体力向上のために独自の特徴ある取り組みを進めること。

(まとめの基礎となった個別意見)

- ⑨空き地を活用して農家を招いて指導してもらい、作物を育てる。
- ⑩道徳の心を育てるような教育をしてほしい。今の日本人は心が貧しい。
- ⑪学力向上、体力向上を図るうえで、特徴ある指導をしてほしい。
例) 合志市の小学生は全員逆上がりができる。など
- ⑫栄養士が学校訪問して食育をする機会が少ない。

2 1. 生涯学習の推進

・多くの人に参加できるように講座の提供を行うこと。

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①講座の楽しい様子を写真(画像)で見ることができれば、参加者の年齢層などが分かり、参加しやすくなるかも。(年齢が全然違うと参加しにくいから)
- ②「生涯学習主催講座等のご案内」のパンフレットを見てもそそるものがない。以前、バドミントン教室に通ったことがあって、楽しい事は知っているはずなのに、パンフレットを見てもそそられない。
- ③人気の講座を調査して講座の数を考えて下さい。ちょっと多いかと思います。
- ④多くの人に参加してもらうために、開催場所を考える。ヴィーブルに来るのが大変では。
- ⑤講座件数は?講座別に出席人数の統計をとり不人気の講座は廃止及び内容等の改善を図り、集客に尚一層努力すべき。また、参加者が少ないにもかかわらず、継続的に実施することは旧態依然としたやり方は本気で改善する。他市町村はどのような講座があるか。

2 2. 生涯スポーツの推進

・生涯スポーツの普及促進と、スポーツ推進委員や指導者の充実と活用を図ること。

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①高齢化が進み、余暇を利用して手軽にできるスポーツの周知と普及促進を図る。
- ②スポーツ行事のPRを広報、チラシで行っても目を通さないことが多い。各種スポーツの提供を、地区ごとにスポーツ推進委員へ要望してほしい。
- ③スポーツ推進委員と市体協との連携。
- ④スポーツ推進委員の待遇改善、活動環境の充実を図る。
- ⑤中高年の方が非常に多く活用している。市のスポーツジムも用具も整備されているが、更に、専門のインストラクター(指導者)の充実を。(指導的な事)
- ⑥スポーツ体験教室について、熊本城マラソンが大ブームなのに、マラソン教室がない。人気があるスポーツの教室を考えるべきでは。

・市民全体でできるイベント、スポーツの実施を検討すること。

(まとめの基礎となった個別意見)

- ⑦市民が参加しやすい計画を立て実行すること。(スポーツ大会など)
- ⑧合志市民全体でできるイベント、スポーツの実施。

・ **地域ごとにスポーツ施設の充実を検討すること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

- ⑨各地区にスポーツクラブの施設の増設。(全域とはいわないが年度に何箇所か)
- ⑩施設の充実と施設管理の指導員育成。→地域スポーツクラブ育成。

23. 人権が尊重される社会づくり

・ **引き続き、人に思いやりの心が持てるよう、年少期から学習できる環境の整備に努めること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①偏見をなくすためには、正しく知ること。更なる啓発を。
- ②恵楓園での清掃活動はよかったと思う。恵楓園を活用した啓発事業の推進を。
- ③カタルパの樹の本を活用して何かできないか。
- ④引き続き、子どもたちに、弱者にやさしい気持ちを持たせる教育を。
- ⑤他人を思いやる心を持たせる取り組みを。

・ **家庭教育・地域教育の更なる推進を図るための研修機会の充実と啓発に努めること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

- ⑥人権意識を高めるためには教育だと思う。学校での人権教育の更なる充実を。
- ⑦高齢者と接することでやさしい気持ちを持たせられることもあるので、地域で高齢者との交流の検討を。
- ⑧行政が上から目線とを感じる時がある。行政から意識改善を。

24. 歴史と伝統文化を活かした郷土愛の醸成

・ **市民が歴史、文化に触れる機会を増やすこと。**

(まとめの基礎となった個別意見)

- ①合志市の歴史マップを作り、転入者に配布してはどうか。
- ②歴史、観光、飲食など1冊で市内の情報が分かるような冊子を作ってはどうか。
- ③小・中学生の頃から歴史と伝統文化に触れさせる。

・ **新しい歴史、伝統文化を作る取り組みを検討すること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

- ④各地区(新興住宅街)に歴史を新たに作る。
- ⑤伝統文化と新しい文化を混合した文化を作る。

・ **歴史資料館、郷土資料館の運営方法を再検討すること。**

(まとめの基礎となった個別意見)

- ⑥歴史資料館は館長が不在の時もあり、資料庫のイメージが強い。説明員などは置けないのか。

- ⑦歴史資料館をもっと充実させ、拡充すべき。
- ⑧埋もれた文化をもっとPRしてほしい。
- ⑨写真をたくさん展示してはどうか。
- ⑩入りたい、入ってからも楽しいと思えるような仕掛けを検討すべき。

25. 行政改革の推進

・職員の資質向上を行い、職員（市政）・市民（サービス）に還元すること。

（まとめの基礎となった個別意見）

- ①市役所、市民センターを利用して、不満を感じる事はないので、一定の効果が出ているのではないのでしょうか。
- ②市役所が信頼できる組織 26年度成り行き値（70%）より実績値（69.7%）が低い原因を追究すべき。25年度から落ち込んできた理由は。
- ③各課の異動時（異動後）の市民への対応が出来ていない課があるとの事。書類を出しても説明が出来ない。→職員の育成
- ④情報流出を避けるためのシステムの強化、及び職員への指導・対応。
- ⑤行政改革の推進→重要事項（尚一層の取り組み姿勢の強化）→組織の活性化の強力推進。
- ⑥各種研修等のフィードバックの確実実施、公費出張と言うことを常に念頭に置き、効果的研修の実践を徹底する。果たして、遠方がいいのか尺度は難しいが、一般企業への出向等も考慮。（行政＝納税者の認識一致）
- ⑦行政への信頼感を醸成するためには、行政と市民の一体感が重要、行政のやり方、仕組みが不透明すぎて理解が得られていない。相互理解が基本であり、ミニ集会等の実施を徹底し、市民目線と行政目線の協調を図っていくことが最重要。

26. 財政改革の推進

・税収増をめざすこと。

（まとめの基礎となった個別意見）

- ①大企業を誘致し、法人税を確保する。
- ②ふるさと納税をしたくなる特典を検討する。
- ③ヴィーブルのイベント時などで、市外からの来場者がある時に、駐車場の有料化を検討してはどうか。
- ④合志ブランドをもっと取り入れ、合志市のPRを積極的にしてもらいたい。

・無駄を省き効率的な事業運営を行うこと。

（まとめの基礎となった個別意見）

- ⑤議員報酬アップが無駄な支出だと言う人もいるが、議員定数を減らしたり、議員が報酬に見合う活動をするのであれば、そうは思わない。
- ⑥合併特例債の有効活用。

- ⑦財源確保が難しいのであれば、無駄な支出（事業）を省く。（効率が悪い事業）
- ⑧財政改革→最重要課題、現状当市は税込アップがない中で、社会福祉費の増加等問題は山積しているが、各種公共事業等を根本的に見直し、不必要な施策は思い切って廃止すべき。これを実践しなければ財政改革はあり得ない。また、補正予算を途中で計上する事も納得できない。
血税→①精査②検証③費用対効果④優先順位⑤選択と集中

・ **市民への経営状況の公開を充実すること。**

（まとめの基礎となった個別意見）

- ⑨財政状況を市民に分かりやすく公開すること。（説明会等を開く）
- ⑩各事業に対しての収支を明確にする。（現状以上に）→経費の見直しを図るため